

第35期全国地域リーダー養成塾 シラバス

開催時期	研修科目	内容
第1回 5月17日(火) 5月19日(金)	開講式	
	主任講師 オリエンテーション	塾生がゼミナールを選択する際の参考とするため、主任講師がこれまでの研究活動及び現在の研究テーマ等を紹介する。
	リーダー塾で学んだこと (修了者から)	リーダー塾を修了後の活動等について話を聞き、今後の学びや活動の参考にする。
	私の自治実践論	自治体の首長による理論及び実践の講義を通じ、地域リーダーが備えるべき資質や心構えなどについて理解を深める。
	地方創生の課題	地方創生が叫ばれる昨今の地域の実情を踏まえ、地域活性化の現状と課題についての理解を深める。
	地方財政の現状と課題	地方分権の進展や法律や制度の変化の中で自治体に求められる地方財政の現状と課題、公会計改革への対応などについて、理解を深める。
	地域をとりまく時代の潮流 (塾長講話)	リーダー塾参加の意義と心構えをあらためて明確にするとともに、全国各地が抱える様々な課題についての問題意識を共有する。
	分権時代の行政運営の方法	少子高齢化、人口減少が進む中、行政改革や行政サービスのあり方、地域再生を見据えた公共の担い手について考察する。
第2回 6月13日(水) 6月16日(金)	都市の読み取り方 (塾長講話)	物語と人格ある都市について、多くの事例を読み取り、まちづくりにおいて、景観形成のために果たすべき住民や行政の役割について学ぶとともに、事例を通じ、理解を深める。
	地域コミュニティへの自治体 職員の関り方	高齢化や担い手不足が続く地域コミュニティの再生に向けて、自治体職員が果たすべき役割と考え方、行動について理解を深める。
	自治体の政策形成と連携・ 交流 (主任講師講義)	地方分権や地方創生の取組が進められる中で、自治体の政策形成力がますます重要になってきている。政策形成の基礎から、自治体間連携・交流をキーワードとした多様な取組事例を踏まえて自治体政策の可能性を考える。
	ゼミナール(第1回)	主任講師の指導のもと、テーマに沿った調査・研究を行い、成果をまとめた修了レポートを作成する。
	現地調査(第1回)	NPO等によるまちづくり(福祉、環境、コミュニティ再生、地域おこし等)について先駆的事例を視察調査し、実践者の講義を受ける。
	観光による地域活性化	観光を軸とした地域活性化の取組事例や、その手法について学ぶ。観光まちづくりのために果たすべき住民や行政の役割について理解を深める。
	地域活性化のための情報化 戦略	IT技術を効果的・効率的に、地域産業や経済の活性化、コミュニティ活動、福祉文化の振興などの情報化に取り入れる実践手法について事例を通じ理解を深める。
	経営者に学ぶリーダーシップ (公開講義)	企業経営者によるリーダーシップ・コーチング等に関する講義(地域活性化センター会員に公開)。リーダーが備えるべき資質や心構えなどについて理解を深める。
第3回 7月11日(水) 7月14日(金)	多様な主体による観光まち づくり	観光政策は誰が担うのか、そして観光における新しい連携とはどのようなものか理解を深める。
	伝わる文章の書き方	SNSやオンライン会議などのデジタル化が進み、多様な情報があふれる中、必要な情報を意識的に収集して整理し、的確かつ簡潔に伝えることが求められる。そのための「観察力」「要約力」のスキルを学ぶ。

第35期全国地域リーダー養成塾 シラバス

開催時期	研修科目	内容
第3回 7月11日(水) 7月14日(金)	地域の価値を高める景観・都市デザイン戦略 (主任講師講義)	地域の豊かさの源泉がどこにあるかを丁寧に見つめなおし、地域再生のための個性豊かなまちづくりをどのように進めてゆくかに対する理解を深める。
	コミュニティビジネス	地域課題解決の手法としてのコミュニティビジネスについて、地域資源を活かした事例をもとに事業運営の手法を学ぶ。
	地域活性化におけるマーケティングの考え方 (グループ演習)	持続可能な地域づくりを行うために、「経営」という視点から、実践的な地域づくりについて考察する。
	自治体における政策企画の考え方～ロジックモデルを学ぶ～	政策を論理的に立案するうえで必要なロジックモデルの基礎を学び、政策目的を明確化したうえで合理的根拠に基づき考える手法について理解を深める。
	地域共生社会の実現に向けて	制度や分野の縦割りを超えて、地域住民や多様な主体がともに地域を創っていく地域共生社会について理解を深める。
	地域コミュニティの再生	地域コミュニティによるセーフティネットの強化や地域自治の必要性が高まる中、地域の共生力を引き出す基盤の充実やコミュニティの再生について、事例と今後のあり方を学ぶ。
第4回 8月30日(水) 9月1日(金)	地域の課題をデータで見える化する (主任講師講義)	地域の変化や課題をデータで見える化し、その分析を行いながら課題解決の方法を学ぶ。
	ゼミナール(第2回)	前掲
	現地調査(第2回)	前掲
	地域文化を活かしたまちづくり	風土に根ざした暮らしや文化を活かしながら、まちづくりに展開していくための手法を学ぶ。
	男女共同参画時代の地域づくり	地域づくりを進める中で、ワークライフバランスを含めた男女共同参画の現状、さらにはこれらの観点から留意するポイントなど、具体的な事例を通して考える。
	ファシリテーション研修 (グループ演習)	建設的な会議の運営や、地域づくりの場面で多様な住民のニーズの調整や地域の合意形成を進めるために必要な、ファシリテーション能力の向上を図る。
第5回 9月27日(水) 9月29日(金)	社会と市民と自治体 (主任講師講義)	地域政策を考えると、社会構造や市民と自治体との関係性を理解したうえで、現状の政策・制度を紐解いていくという考え方の基盤を学ぶ。
	ゼミナール(第3回)	前掲
	現地調査(第3回)	前掲
	修了者研修会 分科会	歴代主任講師によるテーマ別分科会。(修了者研修と合同開催)
	修了者研修会 特別講義	様々な分野の地域づくりの第一人者による、実践に基づいた講義。(修了者研修と合同開催)
	地域づくりのプラットフォーム構築と自治体	地域における自治体の役割や財政負担の仕組みについて理解を深めるとともに、多様な担い手が連携を図り、社会経済のつながりを育む地域プラットフォームの構築について考察する。
	人が集まるセミナー企画とチラシの作り方(広報の効果的な手法)	企画や事業の効果を高める広報の手法やPR、メディア対応、リリースの作り方など、自治体広報や団体広報の実践的手法を学ぶ。

第35期全国地域リーダー養成塾 シラバス

開催時期	研修科目	内容
第6回 11月29日(水) 12月1日(金)	農山村地域の振興と担い手づくり (主任講師講義)	中山間地域における、新たなコミュニティと経済構造の構築によるまちづくりについて学び、内発的発展による地域自立について理解を深める。
	これからの時代のまちの魅力創生	中心市街地活性化、商店街再生など、にぎわいあふれる地域づくりを行うために、地域環境、地域経済、地域社会の各側面から、考察する。
	移住・交流による地域活性化	少子高齢社会における地方と都市部との地域間交流の意義を学び、移住・交流による地域活性化の事例を通し、地域間交流の手法について理解を深める。
	ゼミナール(第4回)	前掲
	現地調査(第4回)	前掲
	地域おこし協力隊実践報告	全国各地で活躍する地域おこし協力隊の活動について、現役協力隊員やOB隊員から学ぶことで制度と実状の理解を深める。
	地域の経済循環および小規模地域の人口推計	各地域をとりまく経済の動向と、その捉え方について、研究者の見解を学び、理解を深める。
	先駆的地域づくり現地調査報告会	
第7回 2月6日(火) 2月9日(金)	修了レポート発表	ゼミナール別に、1年間の研修の成果をレポートとして発表する。
	修了式	
	修了者支援事業説明会	リーダー塾修了後の支援事業について説明する。
10月中旬 11月中旬	先駆的地域づくり現地調査	ゼミナール別に、2泊3日の日程で全国各地の地域づくりの先駆地を訪問し、地域づくりのキーパーソンなどを通じて地域づくりの問題解決策を学ぶ。
1月中旬	ゼミナール特別研修	ゼミナール別に、1年間の研修の成果をレポートとして作成するため、1泊2日の日程で主任講師から最終的な指導を受ける。